

ハッピー通信



2024年4月23日発行

24-17号

(<http://www.jremnant.com/>)

現場から（最近のニュースから）

連続性のうえに



朝日新聞に掲載されている哲学者の鷲田清一さんが執筆されているコラム「折々のことば」は、短いのですが、内容は重みがあります。4月21日の記事を紹介します。

瞬間、というものは、一瞬のことではなくて、連続性のうえにあるのだな（松田青子）

「妙な気のつかい方をしてしまう性格」で、このところ通っている美容室でも担当者を指名しないと、小説家は言う。ある日、初めて当たった美容師さんと雑談するなか、喉（のど）から手が出るほど欲しかった情報をもらえた。こんな偶然が生まれたのも、その場所がそこに集う人たちのあいだで、普段から濃（こま）やかに耕されていたからだろう。随想「担当者」（「世界」4月号）から。

「今」はこれまでの積み重ねで、過去の状況のすべてから連続で現れたことです。そして、未来は「今」が積み重なって、その連続で現れます。それをある程度は認めているので、多くの場合、なにか犯罪が起こったとき、そのようなことをした人の「過去の履歴」を見て、そうならざるを得ない理由を見つけようとします。そして、その理由が解決できそうなものなら、それを解決するために、いろいろな方法を探します。これは、罪や事故などの問題だけではなく、良いことがあるときも、人々が考えることです。

たとえば、京アニ事件と言われている2019年にあった京都アニメーション放火殺人事件では、犯人がなぜそのような犯行に及んだのか、その人の生まれ育ちの環境から、どのような考えを持って、どのように生きてきたのか、当日までの行動も詳しく調査されています。二度と同じような人が出て来ないようにと、対策を考えるためです。良い面では、野球で活躍している大谷選手や将棋の藤井竜王・名人（八冠）がどのように才能を開花させたのか、育てられ方、考え方などが調べられ、他にもそのような人が出て来ようといろいろな人が工夫しています。そのように、「因果関係」と言われることを探し出し、対策を考えるのが、「今は過去が積み重ねられた結果」という考えだからでしょう。

しかし、このように見ている「過去」は、結局は自分の目の前のことの処理のために見ることであり、決して、事実ではないのです。折々のことばで松田青子さんが書かれているように、思ってもいないところで耕されていたことが、いま、この瞬間に現れるというのが事実です。偶然と言われていますが、その「連続性」は、決して偶然ではありません。遠い昔に国ができて、歴史が流れて、人が生きて来たその流れの中で、私たちが知らない間に耕されてきたことが、瞬間、いま目の前に現れて起こっているということを考えてみたことはあるでしょうか。因果関係などという浅い知識で判断できることではなく、どうしようもない流れがあり、その中で今日があり、それが未来にまで連続していきます。その流れとは何でしょうか。また、その中にいる私個人は、未来のために何を見ていけば良いのでしょうか。目の前のことで精一杯では、見ることのできないこの真実について、いちどいっしょに考えてみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になるし、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ



5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください